

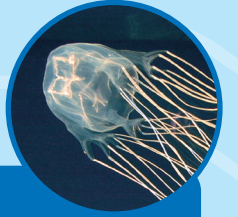
ハブクラゲ刺症事故発生時の対応

刺症事故発生

例：遊泳中に突然激痛が走る等

→ 海からすぐに上がる

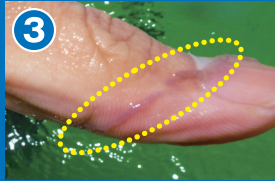
(絶対に患部を擦らない)



ハブクラゲ刺症かどうか確認する

傷口や症状を確認する

- ① つよい痛み
- ② ミミズ腫れ
- ③ 触手の付着
(白っぽいまたは薄紫色)



①～③の症状があれば、ハブクラゲに刺された可能性大

ハブクラゲ刺症の特徴

- ・ 5～10月に発生し、7～8月に最も被害が多い
- ・ 刺されるまで気づきにくい
- ・ 波打ち際や浅瀬でも刺される



海中のハブクラゲは、半透明で見つけにくい

チェックポイント 1

意識の確認

(呼びかけに反応があるか?)

注 特に子ども(10歳以下)は急変しやすいので注意する

ある

なし

ハブクラゲ以外の刺症は裏面を参照

救急対応

※近くに人がいる場合は、大声で協力を呼びかける

救急車を呼ぶ
(119番)



AEDを持って来るよう
近くの人に頼む

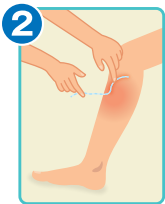


なし

応急処置



① 患部の触手に酢※をたっぷりかける
※市販の食酢(酸度5%前後)



② そっと触手をはがす
※酢をかけた後の触手は、素手で触っても大丈夫です



③ 痛みがあれば冷水や氷で冷やす
※応急処置が済んだら、速やかに医療機関を受診するよう勧める

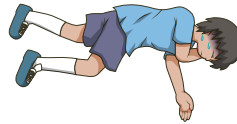
チェックポイント 2

呼吸の確認

ある

なし

回復体位



意識は無いが呼吸が十分にある場合は、上記のような回復体位をとり窒息を防ぐ
※様子を見ながら、救急隊を待つ

直ちに心臓マッサージ

※強く(約5cm、小児の場合は胸の厚さの約1/3)、速く(100～120回/分)、絶え間なく
※救急隊へ引き継ぐまで継続する

AED到着後直ちに装着

※装着する胸部を事前に軽く拭いておく
※AED装着後は、AEDの指示に従い、救急隊へ引き継ぐまで、心臓マッサージを継続する

※触手を取る場合は、左の「応急処置」の手順で取る



医療機関へ

救急隊へ引継ぎ

海洋危険生物についてのお問い合わせ先



保健医療介護部 薬務生活衛生課 ☎098-866-2055
衛生環境研究所(衛生科学班) ☎098-987-8223

ハブクラゲ等海洋危険生物による刺咬事故が発生した場合は「海洋危険生物刺咬事故調査票」を記入し、管轄保健所へ提出してください。

様式はこちら



海洋危険生物刺咬症事故発生時の応急処置

(ハブクラゲ刺症については表面参照)→

★応急処置が済んだら、**速やかに医療機関を受診**しましょう。

意識がない場合は、表面に記載した**救急対応**を開始!!

刺胞動物

カツオノエボシ

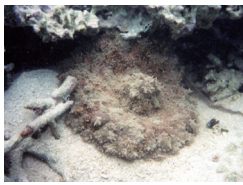


青い触手が特徴的。砂浜に打ち上げられていることもあるが、絶対に触らないこと。

●**傷口の特徴**
ミミズ腫れ
線状のブツブツ (小さな発疹)



ウンバチイソギンチャク



毒が強く重症化することがあるので、必ず医療機関を受診する。

●**傷口の特徴**
点状のブツブツ (小さな発疹)



応急処置 (刺胞動物)

① 海からすぐに上がる (絶対に患部を擦らない)



② 海水で触手や刺胞球を洗い流す

★**酢は絶対に使わない!!**

③ 痛みがあれば冷水や氷で冷やす



魚類

オニダルマオコゼ

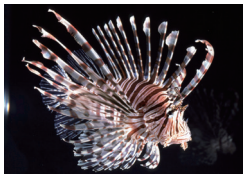


ビーチや浅瀬にもいて、踏んで刺されることがある。毒が強く死亡することもある。

●**傷口の特徴**
直線的に並んだ刺し傷 (1箇所~複数のあと)



ミノカサゴの仲間



触ろうとして手や指をトゲで刺されることがある。

●**傷口の特徴**
刺し傷 (1箇所~複数)



応急処置 (魚類・棘皮動物)

① 海からすぐに上がる (患部はなるべく動かさない)

② 目に見える大きなトゲは取り除く

※棘皮動物のトゲは折れやすいので、まっすぐ引き抜く(曲げたり揺すったりしない)
※無理に抜くと傷口を広げてしまうので、取りにくい部分は病院で取ってもらう



③ 痛みが強い場合は、40 ~ 45℃程度 (手を入れていられる熱さ) のお湯につけながら病院へ向かう

ビニール袋にお湯を入れ患部に当ててもよい
※やけどに注意!



棘皮動物

オニヒトデ



鋭く折れやすいトゲをもつ。駆除作業の際も刺されないよう注意が必要。

●**傷口の特徴**
複数の刺し傷や擦り傷



ガンガゼ



折れたトゲが体内に残ることがあるので、医療機関を受診する。

●**傷口の特徴**
刺し傷 (トゲが残りやすい)



爬虫類

ウミヘビの仲間



強い毒を持ち、咬まれると死亡することもある。

●**傷口の特徴**
小さな点状の咬み傷 (1箇所~複数のあと)



(一例)

応急処置 (ウミヘビの仲間)

① 海からすぐに上がる (マヒして溺れる危険性がある)

② 傷口を清潔にして、急いで病院へ運ぶ

